

事業者行動計画書 ~~（変更計画書）~~

2021年 1月 28日

（宛先）

滋賀県知事

提出者

住所 （法人にあっては、主たる事務所の所在地）

滋賀県近江八幡市安土町西老蘇310

氏名 （法人にあっては、名称および代表者の氏名）

株式会社 吉野工業所 滋賀工場

工場長 谷中 洋文

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例（~~第20条第3項~~ ・ ~~第20条第4項~~  
~~第22条第1項~~ ・ ~~第22条第2項において準用する~~  
~~同条例第20条第4項~~）の規定に基づき、事業者行動計画を策定 ~~（変更）~~ したので、提出します。

事業者の氏名 （法人にあっては、名称 および代表者の氏名）	株式会社 吉野工業所 代表取締役社長 吉野 祥一郎
事業者の住所 （法人にあっては、主たる 事務所の所在地）	東京都江東区大島3-2-6

1 事業所の概要

事業所の名称	株式会社 吉野工業所 滋賀工場					
事業所の所在地	滋賀県近江八幡市安土町西老蘇310					
主たる事業	細分類番号	1	8	9	2	プラスチック製容器製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を 県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室 効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を 県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第1号

(第1面)

1 計画期間

計 画 期 間	令和2年 年度 ~ 令和5 年度
---------	------------------

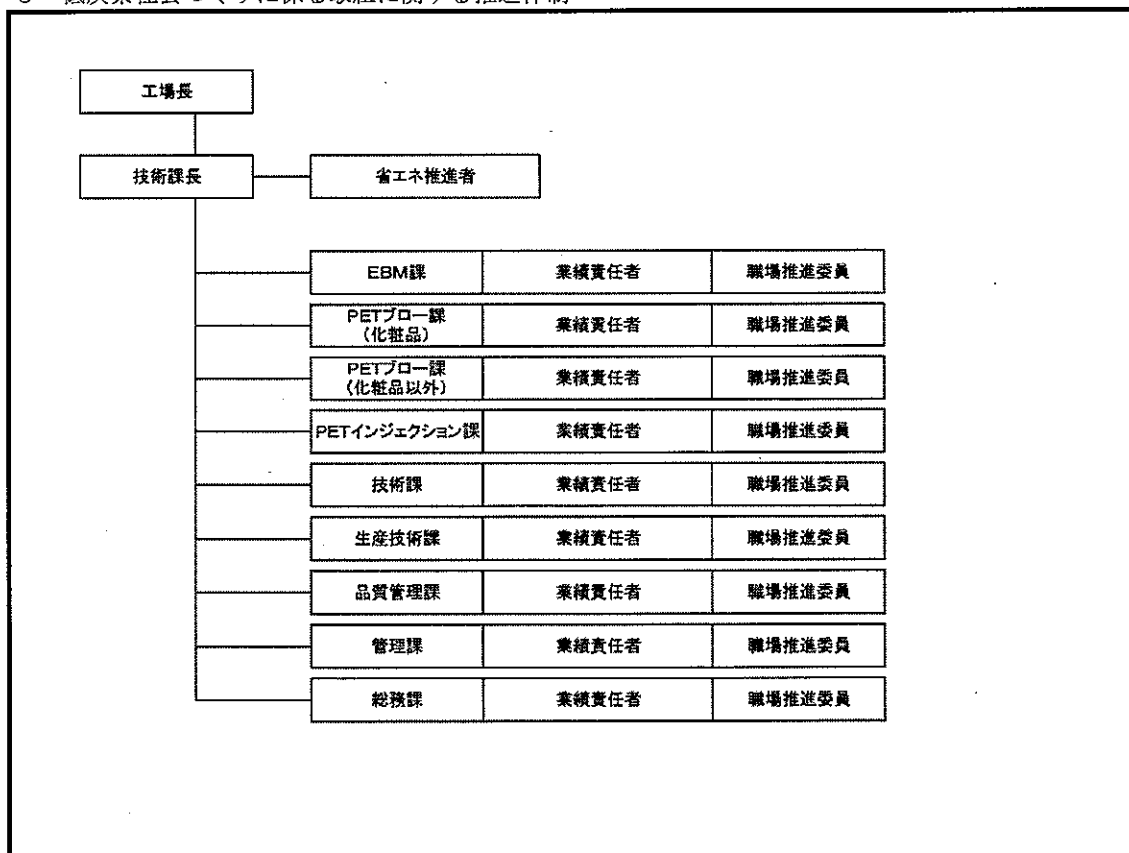
2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私たち<榑吉野工業所 滋賀工場>は、「全ての事業活動の基軸に環境への配慮をおき、ものづくりを通じて社会に貢献する」という全社をあげた理念のもと、製造業として、環境に配慮した製品の供給に努めてまいります。

同時に、私たち<榑吉野工業所 滋賀工場>は、地域に根ざした環境保全活動を通じて地域の方々とのパートナーシップを育み、各事業所を拠点として低炭素社会の構築に寄与していきます。

- 事業活動を通じて、環境負荷を最小限にする仕組みをつくり、環境保全と汚染予防に取り組めます。
  - CO2排出を削減できる製品の提供に努めます。
  - 省エネルギー・省資源に取り組めます。
  - 廃棄物の削減と再資源化に取り組めます。
  - 植樹活動に取り組めます。
- 事業活動を通じた環境保全活動を定期的に見直し、継続的な改善に努めます。
- 環境保全に関連する法規制を遵守します。
- この方針を具体化し維持するとともに、全従業員に周知徹底します。

3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制



備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

(第2面)

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

省エネルギー設備の導入については、昭和58年度から計画的に積極的な取り組みを行っている。

- エアークンプレッサーの電力量について、エアーの漏れの低減や設定圧力を下げることにより電力の削減。
- 外気利用(フリークーリング)による冷凍設備の入替による電力の削減。
- 熱源となる装置に保温カバーを取り付けることで、電力の削減。
- 樹脂押出機に省エネモーター(インバーター)の設置による電力の削減。
- 工場内、事務所、食堂等のLED照明への交換。
- 生産ラインの不要運転時、自動停止させる。
- 生産工場内に外気を導入し、エアコンの運転電力の削減
- 受電設備の稼動状況に合せた進相コンデンサーの適正運転。
- 射出成形機を油圧式から電動式へ入替による電力の削減。

(第3面)

5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	設備導入対策	冷凍設備でチラーをチルドタワーに入替【年間134t-CO <sub>2</sub> 】	令和2年度～令和5年度
2	設備導入対策	送水設備で省エネモーターを導入し、インバーターで圧力制御する。【年間8t-CO <sub>2</sub> 】	令和2年度～令和5年度
3	設備導入対策	空調設備で省エネエアコンの入替【年間20t-CO <sub>2</sub> 】	令和2年度～令和5年度
4	設備導入対策	電動式射出成形機への入替【年間300t-CO <sub>2</sub> 】	令和2年度～令和5年度
5	設備導入対策	高圧低圧コンプレッサー用冷却水設備入替	令和2年度～令和5年度
6	設備導入対策	低圧コンプレッサーの入替	令和2年度～令和5年度
7	設備導入対策	水冷式チルドタワーの入替	令和2年度～令和5年度
8	設備導入対策	低圧コンプレッサー台数制御盤更新	令和2年度～令和5年度

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1			
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

上記(1)の取組みにより、以下の数値目標の達成を目指します。

$$\text{原単位} = \frac{\text{「 総使用エネルギー(GJ) }]{\text{使用原料(t) }]} \quad \text{で毎年前年度より1\%の削減}$$

尚、原単位の考え方は、次の通りです。

温室ガス排出量のもとにはエネルギーですので総使用エネルギー(分子)で表し、使用原料を分母として設定しました。